



クビアカツヤカミキリ対策 行動記録ファイル⑪



日 時：令和8年9月17日（木）・18日（金）

場 所：SHIBUYA QWS（東京都渋谷区渋谷）

内 容：株式会社ソーシャル・エックスが運営する、自治体のリアルな社会課題を起点に起業家を育成するプログラム「ソーシャルXスタジオ」のワークショップが開催されました。本プログラムは東京大学の横断型教育プログラム「地域未来社会教育プログラム」との連携のもとSHIBUYA QWSでのコラボレーションとして展開されております。

ワークショップでは「クビアカツヤカミキリ対策に関する課題」として吉野町の課題を踏まえ、解決に向けたビジネスアイデアを検討しました。

【吉野町の課題や取り組み】

- (1) クビアカの発見・報告・現場確認という作業がアナログであり、時には誤報もあるので、効率が悪い。
- (2) 被害木をチップ化したものを堆肥やマルチング材に使用。



吉野町からの課題説明の様子

これらの課題に対して要件を整理し、ヒアリングを経てモック（システムの試作品）を作成しました。

【学生から出された案（アプリ）】例

- (1) 散歩×見つける×桜を守る

散歩をしながら、被害を見るたらすぐに写真で送り（緯度・経度）、専門職員が判定し、そのデータがそのままマップになるというアプリ。誤報も防げる。

- (2) 思い出の桜を未来へ

被害木のチップ化後、加工することにより思い出を形に残すことができる。



課題について班毎に検討する様子



検討結果を発表する様子